

令和5年8月21日

報道機関各位

地域基幹産業を再定義・創新する人材創出プログラム「ENGINE」における 3大学合同インターンシップ夏期集中合宿「中間発表会」のお知らせ

信州大学・富山大学・金沢大学が連携して取り組む地域課題解決型プログラム—ENGINE インターンシップ（通称：ENGINEインターンシップ <https://enpg.u-toyama.ac.jp/>）は、北陸新幹線で繋がった3大学が連携することにより、インターンシップの対象が広域になるばかりではなく、地域や地元企業の課題を探求し解決を模索する新しいインターンシップの試みです。就職し企業人となったときに課題解決に取り組む姿勢や、新しい価値創造への参画意欲を促す好機となるものと考え、2020年度から実施しております。

今年度のプログラムは、5月の開始から9月の最終発表会までの半年間を、3大学24名の学生と3地域6企業が6グループに分かれ、課題・テーマについて議論を行っています。

つきましては、8月24日（木）に本学で実施する「中間発表会」には是非お出向きいただき、取材をお願いいたしたく、下記のとおりご案内申し上げます。

記

■日 時 令和5年8月24日（木） 10：00～12：00（中間発表会）

■場 所 富山大学経済学部 101講義室（経済学部講義棟1階）

※詳細は別紙をご参照ください。

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学／富山大学ENGINEプログラム

担当：岸本 壽生（経済学部 教授）、長島 裕美（地域連携戦略室）

TEL：076-445-6955（取材申込 地域連携戦略室）

076-445-6517（当日連絡先 経済学部）

Email：naga1604@ctg.u-toyama.ac.jp（長島）

WEB：ENGINE インターンシップ <https://enpg.u-toyama.ac.jp/>

【別紙】

地域課題解決型プログラム—ENGINE インターンシップについて

◆概要

- 対 象 : 2、3年生（全学部）
- 内 容 : 「ENGINE プログラム」がテーマとする「食」「観光」「交通」「インフラ・ものづくり」の地域課題の解決を捉えるインターンシップ
- 協 力 企 業 : 富山地域 : 立山科学グループ、日本海ガス絆ホールディングス
信州地域 : 長野銀行、信越放送
金沢地域 : こみんぐる、北陸放送
- 実 施 日 : 3大学の学生と3地域の企業が一堂に会して課題の解決を議論
【日時】令和5年8月24日（木）10:00～18:00
【会場】 富山大学経済学部棟1階（101教室 他）
- 参加費・単位 : 無料 ・ 2単位
- 課 題 : ENGINE のフォーカス領域である「食」「観光」「交通」「インフラ・ものづくり」の4つのテーマを「再定義」し、課題を設定した上で、実行可能性のある、解決のためのサービス・アイデアを提案せよ。
上記課題に対し、自身が実践することも可能とさせていく。

◆ 産学連携 課題解決型インターンシッププログラムの4つのポイント

- 信州大学・富山大学・金沢大学の3大学連携のプログラムで他大学の学生と切磋琢磨
→富大生11名、信大生7名、金大生6名の合計24名が参加。
混成チームで地域を広域に捉え、課題に取り組む中で、相互に刺激し合い、学び合います。
- 社会で真に求められる「力」や「スキル」を磨くことができる
→3地域の企業に「これから求められること」を調査・分析しました。その知見をもとに、「創新」「連繋」「突破」のENGINEのキー概念を捉えた上で、プログラムを構成。
- 「長期」、「学生主体」、「実践」を重視し、プログラムを構築。だからこそ圧倒的に成長できる。伸びる。
- 「成長」を促す、手厚い支援体制を構築。さまざまな社会人から多くのフィードバックがもらえる
→大学教員のみならず、各地域の基幹産業の企業や、東京に本社を構えるコンサルティング会社から各段階で多様なフィードバックをもらい、3地域の学生・企業が連繋できる機会を創出。特に、各地域の企業からは、若手メンターと管理職の2つの層からの伴走を実現する。